

12号線延伸で新座をもっと住みよいまちに！

12号線（大江戸線）の延伸に合わせて土地区画整理事業を行うことで、市中央部に**交通利便性の高い良好な街並み**が形成されます。

また、12号線の利用率が上がることで、他の鉄道やバス、道路の**混雑緩和**が図られるとともに、**CO₂の削減**にもつながります。

さらに、市中央部の**市街化区域への編入**が進み、**税収が伸びる豊かなまちづくり**が実現することで、市全体の市民サービスの向上が期待されます。

市中央部は、
土地区画整理事業で
新たな都市拠点に！

地下鉄を利用して
CO₂を削減
環境にやさしいまちに

(仮称)新座中央駅

新宿まで約**35分**
交通が便利に！

応援してください！12号線延伸



▲ 馬場四丁目児童遊園に設置した横断幕

本同盟会では、12号線（大江戸線）の延伸について、市民の皆様幅広く知っていただくため、昨年度、市内8か所に看板・横断幕・懸垂幕を設置し、11月には取組に関する御案内を全戸配布しました。

12号線の新座市方面への延伸を実現するためには、**地元の盛り上がり**が必要不可欠です。

これからも、**地域一体となって**12号線の延伸実現に向けた活動に取り組んでいくため、**皆様の御理解と御協力をお願いいたします。**

にいざ12号線通信 no.2



みんなの力で**大江戸線**を新座市へ



平成25年7月 新座市都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会 発行

会長あいさつ

新座市長 須田健治

本市は、市域の北端に東武東上線が、南端に西武池袋線が通っている一方で、市中央部については、都心部に向かう鉄道路線の空白地域となっています。そのため、この地域へ地下鉄12号線（大江戸線）を延伸することは、市の悲願であり、これまで長年にわたって延伸促進活動に取り組んでまいりました。

その中で、新座市都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会は、平成23年10月に設立され、12号線の新座市方面への延伸の早期実現を目指して、視察や啓発活動、要望活動といった積極的な活動に取り組んでいるところです。

また、市では、市中央部に想定する新駅、(仮称)新座中央駅を中心としたまちづくり構想の策定に向けた検討を進めており、今回は、現在の構想案を皆様にお示しさせていただきます。

延伸実現に向けては、関係機関に対して市民の熱意を強く示していくことが大変重要であります。本同盟会についても、本年度はこれまで以上に積極的な取組を行ってまいりたいと考えておりますので、皆様の御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。

12号線延伸と新座市の現状

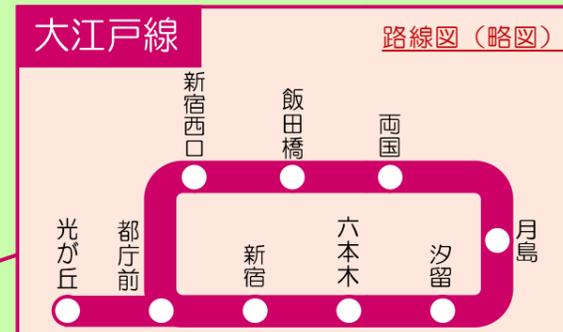


交通政策審議会(旧運輸政策審議会)の答申における12号線(大江戸線)延伸の位置付け(※)

- 光が丘～大泉学園町
平成27年までに整備着手することが適当である路線(A2路線)
- 大泉学園町～武蔵野線方面
今後整備を検討すべき方向(B路線)

新座市の現状

市中央部は、都心から約15km圏内でありながら、鉄道駅がなく、市街化調整区域が広がっている。



※ 交通政策審議会(旧運輸政策審議会)が、15年に一度示す答申は、国の鉄道整備計画の指針となる。

新座市都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会

【事務局】新座市役所企画財政部企画課

電話：048-477-1782 メール：kikaku@city.niiza.lg.jp

12号線延伸に関する取組は、市ホームページでも紹介しています。

<http://www.city.niiza.lg.jp/site/12go/>



「都市高速鉄道12号線の延伸地域におけるまちづくり構想(案)」を作成しました

12号線(大江戸線)の延伸実現に向けた取組の一つとして、**延伸地域の特性**をいかした**新座市ならではのまちづくり構想**の策定に向けた検討を進めています(右図参照)。

そこで、ここでは、昨年11月にお示したまちづくり構想(案)から、更に検討を加えた新たな案を御紹介します。

なお、この案は、市職員の検討により描いたものであり、地権者の方の同意を頂いているものではありません。また、今後地元の皆様や関係機関との協議を進めながら、検討を深める中で変更される場合がありますので御了承ください。

延伸地域の特性

- 東京都心部に比較的近い
- 武蔵野地の強固な地盤上にあり災害に強い
- 自然や歴史的文化資産が豊富
- 関越自動車道に近接
- 様々な用途に活用可能な土地が多く存在

12号線と関越自動車道の連携

平常時 広域交通ネットワーク

- 関越道を新座で下りて12号線に乗り換えることで渋滞を避け、**都心への移動を速く快適に**



災害時 緊急輸送ネットワーク

- 災害時の救援活動に使用する輸送ルートとして活用し、**新座が広域を支える防災拠点に**



まちづくりのコンセプト

- ① 良質な自然に囲まれた集約型都市の創造**
 - ・いきいきと、安心して、快適に暮らせる、「住んでよし」のまち
 - ・歴史・緑・水と触れ合う、「訪れてよし」のまち
- ② 広域的な防災拠点となる防災都市の創造**
 - ・12号線と関越自動車道をいかした、命を守る安全・安心のまち



安全・安心・快適にスローライフを楽しむ地域の創出

- 野火止用水や平林寺を始めとした自然や歴史的文化資産をウォーキングで巡ることのできる緑道を整備
- 大学や多目的ホール、商業・業務施設を整備して、**にぎわいのあるまちに**
- 災害に強い地域の特性に加えて、防災公園や医療施設を整備し、**災害に不安を感じないまちに**



※1 スマートインターチェンジ：高速道路上に設置されるETC専用のインターチェンジ

※2 パークアンドライド：鉄道駅等の周辺に車を駐車し、そこから鉄道等公共交通を利用して都心部の目的地に向かうシステム